*日本シルク学会原稿作成要領*

日本シルク学会原稿見本（タイトル）

1) 日本シルク（著者）

1) 絹太郎

2) 生糸花子

1) シルク大学絹学部：〒123-4567　東京都新宿区絹町1-2-3

2) 株式会社シルク：〒891-2345　東京都新宿区製糸町4-5-6

受領年月日、受理年月日（審査終了後に編集委員長が記載する）

ショートタイトル：15文字以内のショートタイトル

An Example of the Manuscript for Nippon Silk gakkaishi（英文タイトル）

1) Shiruku Nihon

1) Taro Kinu

2) Hanako Kinu

Key Words（英文）

 6 key words 以内

Corresponding author

 Taro Kinu;

 Department of Silk, Silk University, 1-2-3 Kinu-Machi, Shinjyuku, Tokyo 123-4567, JAPAN

 Email: tkinu@silk.ac.jp

最初のページに日本語タイトル・筆者名・所属・ショートタイトル, および英語タイトル・筆者名・英文キーワード・Corresponding author名と所属・連絡先をお書き下さい.

Abstract

 英文250 Words以内で, 原稿の内容が分かるようにまとめて下さい. 2ページ目は英文アブストラクトのみとします.

摘要

　400字以内で和文要約を作成して下さい. 3ページ目は, 摘要のみとします.

本文

**１．体裁**

　A4タテで40文字ｘ40行の設定でお書き下さい. ページ番号と行番号を付記して下さい. フォントに制限はありませんが, 刷り上がり時に日本語はMS明朝10ポイント, 英語はTimes New Roman 10ポイントとなります. 但し, 特殊なフォント等を使用する場合は, その旨ご連絡下さい.

**２．文量**

　刷り上がり1ページあたり, 1760文字となります. 論文, 総説, 解説, 随筆では, 原則, 刷り上がり8ページが最大となっていますので, 14000文字以内に収めて下さい. 短報は, 原則刷り上がり3ページ以内となっていますので, 5000文字以内に収めて下さい. また, 図表分と表題部分を考慮して原稿の執筆をお願いいたします. 目安として, 刷り上がりで70x70mmの大きさの図は, 300〜350文字相当になります. また, 表題ページは, おおよそ1/2〜2/3ページが表題, 英文アブストラクトとなります.

**３．用語**

　原稿は, 学術用語以外は常用漢字, 現代かなづかいで簡潔平昜に記述して下さい．学名は原語としますが, 薬品名, 化合物名, 色素名, 生物名などは原則としてカタカナとします．原則として, 漢字, ひらがな, カタカナ, 句読点, 括弧及びハイフンは全角文字を, 英数字は半角文字を用いてください．数字はアラビア数字とします．句読点は, 刷り上がりでは, 「．」「, 」となります．

**４．区分け**

　本文は原則として**緒言, 材料と方法, 結果, 考察, 結論, 謝辞, 文献**に分けて記述し, 必要に応じて見出し, 小見出しを付けて下さい．

**５．記号および式**

　原稿にはユーザー定義の文字あるいは記号を使用しないで下さい．ワードプロセッサに標準で装備されている文字, 記号のみを使用して下さい．ユーザー定義の文字あるいは記号を使用する場合には, その旨連絡をして下さい．

単位及び略記号はkm, m, cm, mm, μm , nm, cm2, ml, kg, g, mg, μg, h, min, s, %, ℃, kcal, pH, RH, Hz, M（モル濃度）,Ｐ（放射性リンＰ）などとし, 単位は原則としてSI単位系を用いて下さい．

　単位記号やsin, expなどの関数名はローマン体で記して下さい．関数と引数の間を半角1字あける．＋, =, >, ±等の前後は半角1字あけて下さい．独立した数式には(1), (2)等の番号を右寄せで付け, 式の上下に1行程度の空行を設けて下さい．添字が小さいと刷り上がりで不鮮明になることがあるので注意が必要です．

**６．図表**

　図表は英文とし, 図や表はできるだけ簡略に, 図と表の重複を避けて下さい．なお, 図表の番号（**Table n.**, **Fig. n.**）は太字とする．図表は, 図表ごと図表番号を示して別紙に添付して下さい. 表のタイトル, 図のキャプションは英文として, 別紙にまとめて下さい. 図表の鮮明さを確保するために, 解像度は300〜600dpiでお願いします. 印刷時に縮小される場合があるので, その旨を考慮して作成して下さい. ファイル形式は, JPEG, TIFF, PDF でお願いします.

**８．文献**

　文献の引用は, 本文中では通し番号で1, 2) あるいは3-6) などと書きます．人名は特に必要な場合以外は, 姓のみとして下さい.

文献は末尾にまとめて書いて下さい．学術雑誌から引用する場合は, 下記例に従い, 著者名, （発行年）, 表題, 雑誌名（フルネーム）, **巻数（太字）**（又はかっこ内に号）, 始めと終わりのページの順とします．単行本の引用は, 著者名（発行年）, 本の名前, 総ページ数（又は引用ページ）, 発行所, 同所在地の順とします．著者名と表題の間はコロンを入れます．雑誌名の省略法は, Physics Abstracts やChemical Abstracts に準拠します．参考文献としてwebページからの引用は出来るだけ避けるが、やむを得ず引用する場合は、webアドレスと参照した閲覧年月日を明記して下さい.

1）大久保五郎・新宿一郎（1972）：生糸検査に関する研究Ⅲ．繊度検査について, 生糸検査所研究報告, **26**, 33-35.

2）新宿一郎（2004）：生糸検査のための格付について, Nippon Silk Gakkaishi, **3**, 11-13

3）百人絹子（1988）：絹の構造に関する研究（東京大学, 学位論文）.

4）T. Kinu (2006): Characterization of Silk Fibroin, J.Seric.Sci.Jpn., **70**, 110-120.

5）生糸花子（2007）：絹織物の染色, 　　Nippon Silk Gakkaishi, **16**, 50-55.

6) http://jssst.sakura.ne.jp/, 2016/5/31

**９．原稿の送付**

　原稿は, 必ず投稿原稿送状とともに下記の編集委員会宛メールアドレスに添付ファイル（ワードあるいはpdf）として電子メールで送付してください．容量等で電子メール添付が困難な場合は, 編集委員会へご連絡下さい.

（edit@jssst.org）

表のタイトルと図のキャプション

**Table 1.** Silk gakkaishi ni tokosuru yo

**Fig.1.** Minnade dondon nippon silk gakkaishi ni tokosiyou